



令和元年度まで行われてきたイギリス海外研修に代替するコロナ禍の国際交流事業として、県教育委員会の「県立学校等チャレンジ・プロジェクト」の一環として実施したものです。

目的

- 1 高校生の視点からSDGsを学ぶ中で、各国の現状や課題、自国のあるべき姿や将来像を共有し、世界の平和に対して自分たちにできることを考える。
- 2 カナダのブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)の学生との英語でのディスカッションを通して、自分の思いを英語で伝える。

研修内容

- 1 校内研修…2030年までに世界が解決すべき17の開発目標であるSDGsについて、研修引率者によるワークショップや外部講師を招いて、様々な観点から学ぶ(毎週金曜日に実施)。
- 2 ブリティッシュ・ヒルズ語学研修…8月上旬に1泊2日で実施
- 3 カナダオンライン海外研修…10月中旬に福島県棚倉町(3泊4日)で実施。UBCの大学生の指導の下で、SDGsの知識を深め、解決策を英語で発表／フィリピン人講師と英会話レッスン／添乗員による英語でのダンス・アクティビティ／研修施設職員によるテニス・アクティビティ／引率ALTによる英語でのSDGs講話
- 4 事後研修…12月に校内で実施。「SDGsって結局何?」をテーマにディスカッションを実施。

参加者14名

1年次 12名

2年次 2名

引率 3名



ブリティッシュヒルズ研修の様子



オンラインでの研修



ALTによる英語講話

参加者からの感想・メッセージ(参加者アンケートより)

英語漬けの4日間(カナダオンライン海外研修)について

● 英語を学ぶ上での嫌悪感であったり、不安感を簡単に払拭できたりするいい機会だと思いました。そのようなネガティブなイメージが取り除かれれば意欲的に学習することができ、言語の習得のスピードも早くなると思います。

● 今まででは頭の中で考えてから翻訳していたものを直接英語で考えることができる場面が格段に多くなったと思う。

● 英語で人と会話することをためらわなくて良いとわかり、人と積極的に英語を使って会話することが容易になりました。

英語でコミュニケーションを行うために大切なこととは?

● なによりも「伝えたいという気持ち」だなと思いました。頑張って伝えようとするれば相手も理解しようとしてくれるし、コミュニケーションをとる上で1番大切な事だと思いました!

● わからなかったら、絶対に聞く。遠慮しない!

● 相手の文化的背景を理解する事だと思います。例えば、カナダで英語話者と話す時はYes/Noハッキリと意思を伝える必要があるし、恥ずかしがってはいけません。



夜の研修(プレゼン準備)



参加者全員で